

時計の針は 2004 年

金曜日の 3 時になると、お決まりの砥部に向かいます。

JFL 愛媛 FC の試合のライン引きボランティアマンに変身。

愛媛 FC の JAN さんと K 田さんと私の職人作業が始まります。  
たまに引き間違えると、消すのに 1 時間以上(^\_^;)かかる危険な仕事です。  
ある時、センターサークルひきまちがえて、失神しそうになりました。(笑)

ともかく運営に人が足りない、時代でした。

ある時・・・どうしても看板を並べるのに人が足りない時  
メルマガで看板並べてくれる人募集とメルマガを送ると。

愛媛県内からたくさんの有志が駆けつけてくれました。

その中に一人の小学生がいたのです。

なんとそのメルマガを見て

川内から 1 時間 30 分かけて砥部の陸上競技場まで歩いてきたのです。

10 歳にもなってない少年が、

「大好きな愛媛 FC のお手伝いをさせてほしい。」

「なにかできることないですか？」

「看板ならべるの手伝います。」

胸がジーンとなりました。

この少年がいたから、愛媛 FC J21 年目まで 4 年間

愛媛 FC をボランティアとして応援できたのです。

「理屈を超えて、応援しよう」と

時代を動かすのは、純粋な少年・少女の心だと思います。

マグ渡部